津奈木公民館
電話(78)5400
○右の題字は「徳富蘇峰さん」の額を写したものです。

津奈木

はぐれっ子

童心にかえって
平国校区あけぼの大学

「わたしがた、折り上がったばってん羽は動かんとばい」あちこちから賑やかな声がかかった「平国校区あけぼの大学」の様子です。

毎回県内各地から講師をお招きしての学習会ですが、今回は水俣から丁多美江さんを講師にお願いしての「折り紙教室」で、二十名程の会員と大塚校長初め数名の先生方や十六名の児童の参加での楽しい学習会!!

ご高齢なのにたいへんお元気な講師の先生の含蓄のある体験談をお聞きした後、翼を動かす鶴やみみずく、ふくろうなど熱心に折りました。

その後、先生手づくりの紙芝居を見てひとしきり昔話で賑わいました。

また、廃品を利用しての壁かけの作り方なども教えていただき、併せて余暇の活用の仕方等を学びました。

一言

ある一人暮らしの老人が会合に参加し「皆さんと話しをしたくて来ました。テレビ相手に毎日を過ごしていると言葉を忘れたり、急な時に、直ぐに言葉が出てこないんです」というのです。▼私はこの話しを興味深く聞き、人が持っている潜在能力（機能）は計りしれないものがあり、刺激を与えたり、訓練によってそれを引き出すことが出来るのです。▼一年間寝たきりの老人がある日突然歩いてみたいといって歩行訓練を始め、訓練を続けることによって歩行距離が伸びていったそうです。▼桜戸地区では〝子供から老人まで全員参加の明るく楽しい地区づくり〟を目標に地区活動を行っていますが、一人暮らしの老人等の参加が少なく、自分の城に引き籠もってないで地区民との交流も大切ではないでしょうか。▼快い刺激と疲労は、機能を維持し新たな機能を引き出します。老人だからと言わず積極的に参加し、いつまでも健やかで快適な毎日を過ごしたいものですね。

（浦口　満）

がんばった津奈木っ子!!

津奈木小

VS活動

VSとはボランティアサービスのことです。全校児童で学校内やあけぼの苑、文化センターの清掃を行いました。

熊本県社会福祉協議会の指定を受けて「ボランティア活動協力校」として3年目、今年も元気いっぱいの活動を展開中です。

子ども美術館(3)
「ピーマンは人気がない」

津奈木小五年　開田　未来

芦北町の温泉センター二階に星野富弘美術館があります。その表現と同じように自分の思いを絵と文で表わす五年生の題材です。

この作品は、子どもの身近な食物であるピーマンを取り上げてじっくりと見つめています。みずみずしい緑の変化と形のふくらみを豊かに表現しています。

赤崎小

体験学習でボート漕ぐ

部活動に元気いっぱいの毎日を送っています。特に体験活動は盛んで、赤崎ならではの活動が数多く行なわれております。例えば、ボート乗りです。夏休み前に町からボートをお借りし、練習を何回も重ね、去る七月十一日に「ボート乗り大会」を実施しました。

平国小

発表するって素敵だな!!

七月十二日に、毎月恒例の音楽集会がありました。

今回は、一年生のステージ発表で、一学期の音楽の時間に学習した曲を、伸び伸びと歌ったり、踊ったりしました。八名という人数を感じさせない堂々とした発表に、上級生も拍手喝采。

発表後の感想交流会でも口々にほめられ、表現することの楽しさや喜びを味わう良い機会となりました。

津奈木中

「県中体連大会へ出場」

津中女子バレー部

郡市合同の第一回の記念すべき大会で優勝し、七月二十六日、いよいよ県大会の日。白水中での開始式後立野小で練習しいざ出陣。

相手は強豪八代三中。この日はスロースタートではなかった。一セットを先取した。結果は負けだったが、県大会で自分たちのバレー、最高のプレイができた。

中体連全国陸上大会に参加して

鶴野剛士

疲労骨折のため歩行も苦痛な時もあり、思うように回復せず、走れない時期が長く続きました。今年七月に中学校最後の県通信陸上で完全に体調が回復しないまま出場し、なんとか九州大会、全国大会出場の切符を手にすることができました。しかし、思うような走りができずに不本意な結果に終わってしまいました。

このような経験を通して僕が痛感したことは、レースは一人という思いが強かったのですが周りの多くの人に支えられているということを実感しました。

町図書館新図書紹介

- 沈まぬ太陽全5巻
- 通貨が堕落するとき
- マネー＆ライフ夏号
- 心とからだの疲労回復読本
- アコギを弾こうVol.2
- 着メロキング500Vol
- ｉモードしようよ
- たまひょいちおし本舗
- 命
- 朗読者
- ダイアナ
- 乙武レポート
- クライシス
- きれぎれ
- 花腐し
- ＧＯ
- 咲いた
- ミマン９月号
- 虹の谷の五月

※県立図書館の本も200冊ほど入れかわりました。

町民講座 パソコン講座に参加して

"ウィンドウズ98"言葉を聞き感動と不安の入り混じった中での受講期間でした。小・中学生から青壮年高齢者までの幅広い受講生でいい雰囲気でした。

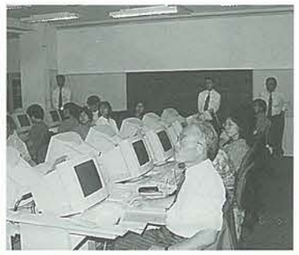
パソコンに興味関心を持っている人、職場で取り入れる人、自分を高める人など目的は違っても楽しい時間が過ぎました。

最初から二回目までは、パソコンの名称、マウス、クリック、ダブルクリック等のことばに戸惑い、肩に力が入り、画面に向う顔は緊張しきっていました。

しかし、人間は、切羽詰まると時間を無駄にせず何事にも取り組み、自己を成長させることが出来るものです。また、家族や周囲の方々の理解で参加できたパソコン教室は本当に楽しい時間を過ごすことが出来て感謝の気持ちで一杯です。

実技が現実になった暑中見舞のハガキ作製のカラープリントの出来ばえにはただただ驚くばかりで、年齢を忘れて感動しました。

これからも、インターネットやその他のパソコンについての知識や技術を身につけるため練習に励みたいと思います。（K・N）



童話発表を審査して 主人公と友達に

岡松荘一郎

クラスからえらばれて壇上に立つまで、子供たちは何べん読みかえしただろう。題目がきまるまで何冊読んだろうか。

繰りかえし読むうちに作者や主人公と仲良くなります。作者は何を言いたいか主人公はどんな気持ちか、国語の時間に先生が質問するのと同じように対話しながら自分のものにしてゆく。

主人公の気持ちがわかるようになると、芝居の俳優のように抑揚も間のとり方も自然とできるようになります。

柔かい頭に刻まれた話は一生忘れません。十二人の子供たちには、将来自分の子供に話してやれる財産を持つことができてよかったネと褒めてやりましょう。これからも人に話せるように本を読み、沢山の友を作れたら素晴らしい大人になることうけあいです。このほか昔の名文や詩を暗記することをおすすめします。

炎天下に燃ゆる!!

町民体育祭　野球・競舟

八月十三・十四日第54回野球大会、十五日第35回競舟大会が行われ、それぞれ優勝を目指し、汗を流しました。尚、競舟には小、中学生の大会や染竹や平国上の女子チームも参加し大健闘でした。

（野球）
優勝：上下門、二位：福浦、三位：内野・平国上
（競舟）
優勝：大泊、二位：日当、三位：平国下

自分にとって家族とは？

津奈木中3年　西平　暢子

私にとって家族は、かけがえのない宝物です。祖父や祖母がいて、父や母がいて、姉がいて、そして私がいます。みんながいたからこそ、今の私があると思います。

私のために、人に迷惑をかけない子にするために、怒ってくれた母。少しのわがままを許してくれた父。

たくさんの相談にのってくれた姉達、そしてやさしい祖父母。

私の家族は、こんなにも私のことを思ってくれています。

こんな家族という宝物を、私は最近、大切にしていない気がします。家の中での仕事はたくさんあります。しかし私は、その中の一つもしていません。いつも、ちょっと手伝おうかなあと思っていても、なかなか行動にうつすことが出来ません。はずかしいのかなんだか・・・。

誰もが家族といると安らぐと言います。それは、一番身近で、一番自分に近い存在だからと思います。そして何より、心が開けるからだと思います。私も家族といると安らぐことができます。こんな家族を大切にするということは、自分も大切にされることと同じだと思いませんか？

家族について考えることのできた今、この世界に一つしかない家族という宝物をもっともっと磨いて、私の自慢の宝物にしたいです。

そのためにもまずは、私の、家の中での仕事、役割などを一つ一つ考え、行動していくことが大切だと思いました。こうした中で、社会性や自立心も身につき、私自身も磨けると思います。

私の人生の中で、決して欠かすことのできない大切な家族・・・そんな家族の自慢できる宝物に、私自身もなれるようにしたいと思っています。

ここに、こんな人が・・・・

研究熱心が 元気の源

川上安喜さん(83)（上下門）

川上さんは、定年までを勤務先だった旭化成の所在地である宮崎県延岡市で過ごされて、その後津奈木へ帰郷されました。

とにかく手先が器用な方で、身のまわりの様々な事を自分で手がけられているのです。車庫や倉庫、鉄骨の溶接工事、機械の修理など好奇心旺盛が研究熱心へとつながり、若さを保つ原動力となっていると感じました。だから、トラクターなども中古で充分とのこと。また、犬の散歩用の手綱も一ぴきなのに、工夫された手綱が十本程にもなっているようでした。庭木の剪定も、手作りの安全ベルト（車のシートベルトを使用）に身をゆだね自分でされているのです。お訪ねした日は、草払い機を担いで草払いから帰宅された所で「一時間程と思って出かけてきました」と話されました。元気の秘けつは、自分で自分の体を知る事で、年齢的に一日の目標歩数は八〇〇〇歩だそうですが、朝の犬の散歩だけで六〇〇〇歩にもなり、一日に一五〇〇〇歩にもなる日もあるようでした。これからも、無理をなさらず、元気に過ごして下さるように願っています。（澤井記）

教えることに厳ならざるは 親（師）たる者の罪なり

津奈木中学校長　佐藤士郎

先日、ある講演で「教えることに厳ならざる者は親・・・」という言葉を聞いた。そこで思い出したのが「子どもの体験活動等に関する国際比較調査」（代表信州大学平野吉直助教授、昨年十月に日本など五ヶ国で調査）を基に、今年七月に実施した本校の調査結果である。その中で、「家庭のしつけについて父親や母親から言われること」について、十二の質問をしたところ、生活の規律や社会のルール・道徳心に関して、本校の生徒たちは、日本や諸外国の中学生に比べて、「父親からも母親からも家庭であまりしつけられていない」のではないかという結果が浮き彫りになった。

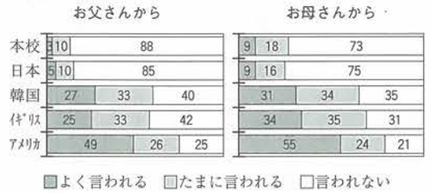
下の表を見ていただきたい。他の質問についても大体似たような傾向である。

生活規律に関して「よく言われる」と答えている者で、本校が少ないのは「ちゃんとあいさつしなさい」「テレビの見過ぎだからやめなさい」である。

社会のルール・道徳心に関しては「友だちと仲よくしなさい」「弱い者いじめをしないようにしなさい」「うそをつかないようにしなさい」「人に迷惑をかけないようにしなさい」「先生の言うことを聞きなさい」「物を大切にしなさい」のすべての項目で本校が最も少なかった。興味を引いたのは、自由の国アメリカが最も厳しく家庭のしつけを行なっていることである。自由と権利の前に、義務を徹底して教えているのだ。

講演の言葉は、親で教師である私の心にズッシリと重く響いてきたのだった。

あなたは、お父さんやお母さんから「友だちと仲良くしなさい」とどのくらい言われますか。



わが町の文化財・石造物(22)『津奈木町千代塚の碑』

孝子　千々岩常人妻ツモ
高サ77㎝　巾27㎝
台座　高サ70㎝　巾90㎝

明治十六年十一月十九日死去、行年五十九才

千々岩常人氏は文政八年赤崎に生れ、父を牧太、母をさよと呼んでいた。資性温厚篤実で能く父母に仕え又弟妹を遇することが厚かった。其の妻女津茂も夫の孝養に習うて姑に孝養を盡して、それで家庭は至って親睦で平和の日を送った。或年、姑さよ中風症に罹り全く身体の自由を失った。津茂女は沢山の子女を育てながら片時も病床を離れず夫常人と共に看病につくした。姑さよ病床に呻吟すること実に十有一年の久しきに亘り倦怠の様子なきのみか此間一日といえども看病を怠らなかった。

明治九年、熊本県知事、其の徳行を奇特として、夫婦を召喚して之を表彰した。

短歌

野の路に拾いし子雀両の手に
包めば小さき命の温し
寺本ツルヲ

道の端にこぼれて咲きし菜の花の
草にまじりて黄の色著き
沢田しずを

吾が肩に雑事を重く荷負えども
療養の夫に諮るすべなき
福田八重子

椅子や机を伝いて歩く吾となり
思い出すなり晩年の母よ
白浜美和子

遠山に残雪見えるみちのくの
五月桜の花と出合いぬ
西　滋子

位置しめて今年も咲ける山百合を
残して土手の草を刈り行く
野田　浦子

本郷武雄選

肥後狂句

無理をして、うまかうまかと嫁を褒め
本家から、四の五の言うてまぜくらす
無理をして、張り込うだ祝儀「つり」をくれ
本家から、又、誰とかの法事げな
無理をして、過労の付けは後で出る
本家から、昔の藏も無うなった
無理をして、つくる笑顔は絵にならん
本家から、今年も先に御中元
無理をして、預けた金に利子つかず
本家から、ちゃんとしてくれ頼むばい

万　葉
神無月
達　生
寅之助
白足袋

〔次笠〕
○ほめられて○気の利かん
一笠二句を十一月十日まで
津奈木町教育委員会へ